

特別寄稿 シリーズ 哺乳類・ナキウサギ
 第11回 北米のナキウサギ②
 ナキウサギ2種の活動性

川道武男 関西野生生物研究所

1) クビワナキウサギの活動性

24時間の観察が可能なアラスカの白夜を、クビワナキウサギはどのように過ごしているのか。

図1は朝4時から翌朝4時までの1個体ずつの地上活動パターンである。

白夜での薄暗い深夜の観察では、しっかりとした地上活動がある。6月のオス(図1の上から3本目)は交尾活動で非常に活動的であった。8月では貯食のため地上で活発であった(図1の下3本)。

図1を俯瞰しても、特別に朝夕型の傾向は見られない。目立つのは30分~1時間程度の地下滞在が地上活動と交互に現れる傾向である。

(次頁へ)



アラスカのクビワナキウサギ

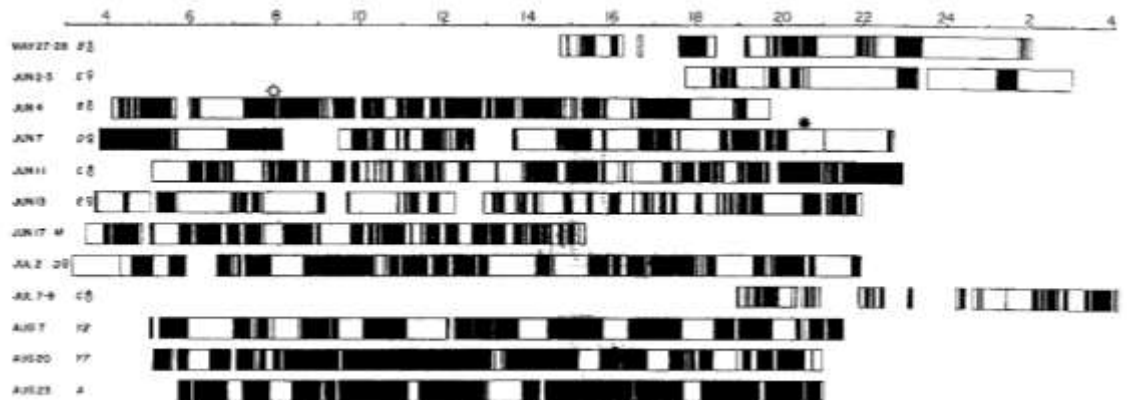


図1.クビワナキウサギの日周活動性(5月~8月 黒いバンドが活動中)

第18回文化祭(コンテンポラリーアート展)
 ご出展及びご来場御礼

第18回文化祭(2017年12月1日(金)から6日(水))は「エルおおさか」本館9階ギャラリーで開催致しました。

今回の特徴は、新たに切り絵・ぬり絵・絵手紙を加えました。レイアウトでは、廊下側にあった植物画を絵画ギャラリーに集めて一体性を出しました。

出展内容は【個人作品】の写真・絵画・植物画・手芸・工芸・書・陶芸・その他。【グループ作品】の「自然工作・楽隊」「動く工作」・「海からの贈り物」・「バードカービング」「藍の世界」です。【廊下側】にはデジタルカメラ展、また絵手紙・切り絵・塗り絵等展示。合わせて249点(昨年比+56点)がありました。

アンケートでは数多くの作品が好評を得ました。グループ展示5団体出展者数147人(昨年比+29人)入場者数859人(昨年比+30)で閉幕しました。

皆様には多くの素晴らしい作品を出展頂き、また多くの方々に来場いただきありがとうございました。

文化祭特別行事委員会 副代表理事 金高俊義
 実行委員長 鳥井浩正
 委員一同

